

留学を開始してから二か月が経過しました。授業は本格的に始まり、制作などの課題が多くなってきました。制作課題はファッションデザインに始まり、パッケージデザイン、駐輪場の設計、と多岐にわたります。領域の幅を超えてデザインを学ぶことが出来る、この点に関しては文芸大によく似ているなど感じます。しかし違いも勿論存在します。まず、この学校では履修登録のような好きな授業を選ぶという制度が無いため、学年ごとに用意された授業を履修していくことになります。つまり自分の学びたいわけでは無い授業も受けるしかないということです。私は今までファッションデザインということについて興味を抱いたことは無く、考えたことも無かったのですが、授業の課題で Y-3 (Yohji Yamamoto × adidas) に合うファッションを基により革新的なデザインを考えるという内容が出されたので、気が乗らないながらも課題を進めるしかありませんでした。しかし、今まで考えてこなかった分野でデザインを行うというのはとても難しく、大変なことではあるのですが、新たな分野を学ぶことは結果的に自分のデザインの幅を広げるのだなと感じました。デザインの思考、進め方など様々なことに新たな発見を見出すことができ、課題を行っているときは着いていくのにやっとで必死ですが、その課題を乗り越えた先は確実に成長を感じられます。



課題のスケッチ

次にこの学校ではどの課題に対しても SDGs の考えが重要になるという点です。そもそもこの学校は名前に Sustainable design school と付くくらいなので SDGs について学ぶことは当たり前かなとは思いますが、英語の授業でも SDGs と関連させたり、先に登場させたファッションデザインでも SDGs について考えたりとしつこいくらいに SDGs、サステナブルが重要視されます。確かに現在この社会では世界中で SDGs の取り組みが重要視され、日本でも多くの大企業が取り組みを行っています。今を生きる私たちには必要なことなのだろうなとは思いますが、自分の行ったデザインのアイデアに関して「素材は何?」「もっとサステナブルにできないか?」などよく問われ、もう少し自由にデザインさせてくれと思うことも多々あります。ただ今後、社会に出てデザイナーとして生きていくのであれば自分の自由な考えでデザインを変えることは出来ないであろうし、SDGs などに取り組んでいくことも大切になってくるとは思うので、本格的にデザイナーを育てる教育という意味では正しいことなのだろうなと感じます。さすがデザイン先進の国、フランスといった感じですね。

最後にフランスの授業ではディスカッションが物凄く多いです。海外ではグループワークが多いという噂は前々から聞いたことがあったのですが、想像以上でした。正直グ

グループワークが無い授業というものがほとんど存在しません。日本のように講義系の授業はあるにはあるのですが、午前に講義を聞いて午後にグループワークを行い、プレゼンを行うという授業構成であったり、オンライン上で teams や Miro といったグループワークのソフトを使用して授業を進めたりと、日本のように先生が講義をして生徒がただ授業を受けるという体制の授業は存在しません。おそらく海外では主体性というものが大事なのだらうなと感じます。私は英語が流暢に話せるわけでもないのにグループワークでお荷物になっているよなと実感しながらも、友達に支えられながらなんとかやってのけています。それにしても頼りすぎな気がします。そして今回このレポートではこの学校で一番重要であろう Partnership について述べたいと思います。この授業は文芸大いうところの地域連携演習のようなものでフランスの企業と連携してプロジェクトを進めていくというものです。授業は隔週、木曜日金曜日にあり、ディスカッションをしたりリサーチをしたりします。しかし二日間丸々授業を行っても時間は足りないで結局違う曜日の授業終わりに集まってディスカッションを行うのが普通です。英語でのディスカッションに慣れていない身としては地獄のような日々ですがそれでも何とか食らいついています。英語の課題に対して英語で考えようとするのは意外と難しく、一旦日本語で考えてから英語に戻していく感じでいつも考えており、一つのアイデアを考えるのに人よりも倍の時間を要してしまっているのが私の今の現状です。英語を英語で理解して考えを導きだす思考力をより強化していきたいと常々思っています。余談ですが、予習で出される読書の課題などは 50 ページを普通に超える量を読んだりするので英語力が低いと本当に大変です。話を戻しますがパートナーシップの授業ではまず一区切りの中間発表としてこの 11 月にプレゼンを行います。今までみんなでまとめ上げてきたプロジェクトをよりプレゼン向きに仕上げていき、プレゼン直前の一週間はどこのグループも死に物狂いで作業を行っていました。そしてプレゼンの日。ここで私に問題が降りかかりました。プレゼンにはフォーマルな服装で出席しなければならなかったのです。私はフォーマルな服装、所謂スーツなどは持ってなかったので前日に SNS



借りたシャツ

の学校のグループで誰か貸してくれないかとの旨のメッセージを送りました。すると何人かの友達が靴を貸してあげる、シャツを貸してあげる、と返信をくれ、なんとか借り物だけで服装を揃えて出席することが出来たのです。ここで、後に BESIGN に留学をする後輩に伝えて置きたいのは、もし私のように前日に慌てたくないという方は事前にシャツなどを持参しておくか、もっと前から友達に貸してほしい、とお願いしておくのが吉だということです。

ここまで述べたように日本とフランスでは授業に違いがあり、衝撃を受けることはあれど学ぶこともたくさんあります。なので、これからの留学生活も充実させ、たくさんの事を学んでいきたいと思います。